

安心して暮らせるぬくもりの街

社会的自立支援事業	保)総務部	P14
重症心身障がい者生活介護等受入促進事業	保)保健福祉部	P15
移動支援の充実	保)保健福祉部	P16
(仮称)障がい児(者)医療・福祉総合施設整備事業	保)保健福祉部	P17
(仮称)中央図書館元気カフェ整備	保)保健福祉部	P18
(仮称)障がい者虐待防止センター運営事業	保)保健福祉部	P19
広域型特別養護老人ホーム新築費補助	保)保健福祉部	P20
市営住宅建替事業	都)市街地整備部	P21
札幌市民防災センターリニューアル事業	消)総務部	P22
震災時消防体制強化事業関連	消)総務部	P23
市有建築物の耐震化関連	市)地域振興部	P24
	保)保健所	
	教)生涯学習部	
	教)生涯学習部	
市有建築物の耐震化関連 (学校改築工事)	教)生涯学習部	P25
市有建築物の耐震化関連 (学校改築設計)	教)生涯学習部	P26

社会的自立支援事業（生活保護）

保）総務部

(単位:千円)

目 的

生活保護受給者に社会とのつながりの回復の場を提供するとともに、生活保護世帯の子どもの将来的な自立を促進

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
①	事業費	6,740	20,424	20,200
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(0)
②	事業費	0	11,803	10,100
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(0)
概定の考え方	①交通費等について過去実績等に基づき精査(▲224) ②ボランティア報酬@1,000円→800円(類似事業参考)等(▲1,703)			①特定財源 国庫支出金 20,200 ②特定財源 国庫支出金 10,100

①就労ボランティア体験事業

[事業費20,200千円]

長期未就労等の生活保護受給者を対象に就業体験的なボランティア活動の場を提供し、社会参加意識や就業意欲の向上を支援

- ・ 支援員(4人) 10,596千円
- ・ 有償ボランティア費用等 6,552千円
- ・ 交通費等 3,052千円

[今後の見通し]

H24年度：3区(120人) H25年度：6区(240人)

H26年度：10区(400人)

※ () は延べ参加者数

②子どもの学習支援事業【新規】

[事業費10,100千円]

生活保護世帯の子ども(中学生)に、学習の場を提供し、学習習慣の定着と基礎学力の向上を支援

- ・ 会場費等
週1回、3会場で実施予定：1,532千円
[想定参加者数：20人～30人/1会場]
- ・ コーディネーター(全体の進行管理)
2人/1会場：2,520千円
- ・ 学生ボランティア(先生)
20人/1会場：6,048千円

重症心身障がい者受入促進事業【新規】

保) 保健福祉部

(単位:千円)

目的

医療的ケアを必要とする重度の障がいのある方が安心して日中活動等に参加しながら、充実した地域生活を送ることができるよう、事業所の体制整備を支援

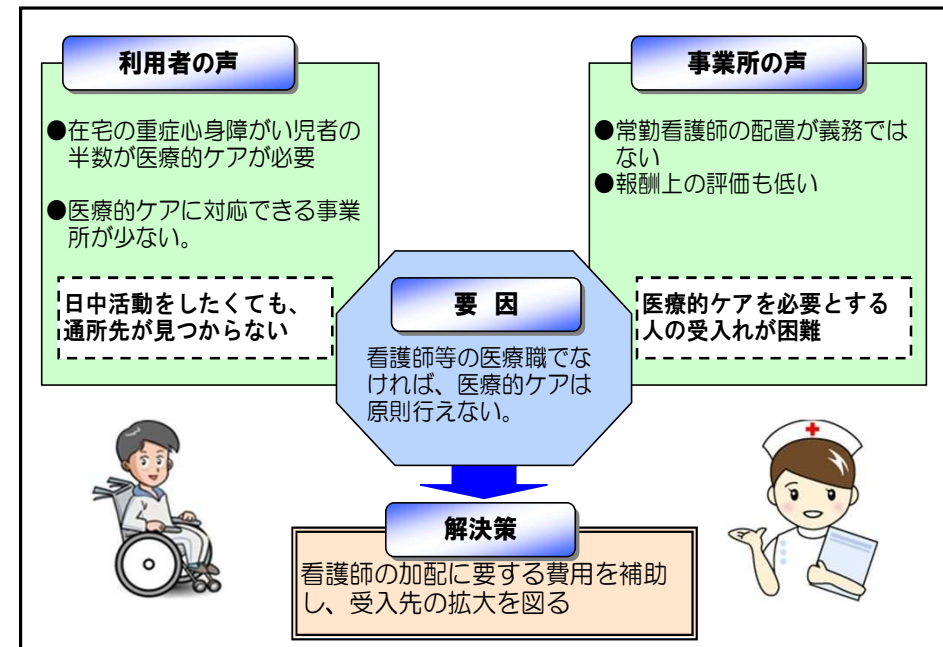
	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
事業費	0	45,000	45,000	
(うち一般財源)	(0)	(45,000)	(45,000)	
概定の考え方	要求のとおり			特定財源なし

事業内容

医療的ケアを必要とする障がい者を受け入れるために看護師を加配した事業所に対して、最大3年間の補助を実施

- ・生活介護分 (10事業所) 30,000千円
- ・短期入所分 (5事業所) 15,000千円

補助対象経費：人件費
 補助額 (率)：1年目3,000千円 (3/4)
 2年目2,000千円 (1/2)
 3年目1,000千円 (1/4)



移動支援の充実

保) 保健福祉部

(単位:千円)

目的

障がいのある子どもの通学時の安全確保や保護者の就労を促進するため、1人での通学が困難な子どもを対象とした通学支援を実施

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
事業費	0	128,882	108,600	
(うち一般財源)	(0)	(128,882)	(108,600)	
概定の考え方	アンケート調査に基づき利用時間を精査(▲20,282) (一人あたり利用時間見込 216時間⇒182時間)			特定財源なし

【総事業費】

23年度：1,095,651千円 → 24年度：1,033,506千円
(同行援護分192,718千円を除く)

事業内容

◇対象要件

- ・ 1人での通学が困難な子ども
(小学生以上の障がい児(者))
- ・ 就労または障がい等により保護者(主たる介助者)が付添いできない世帯

[想定数：297人(就労282人、障がい等15人)]

◇対象時間

30時間/月(従来の移動支援サービス分を含む)

現状

- ▼「主な介助者が通学に付添えないとき、学校を欠席している」36.5%
- ▼「通学支援があれば就労したい」46.4%

(平成22年度アンケート調査より)

障がい児の通学が、保護者の心身状況に左右され、通学にも多大な影響を及ぼしている。

両親の就労などの事情がある世帯に通学利用への拡大

結果

- ◎安定的な通学手段を確保
- ◎保護者の就労を促進



障がい児(者)医療・福祉複合施設整備事業

保) 保健福祉部

(単位:千円)

目的

静療院成人部門跡施設を改修し、障がい児(者)に対する福祉と医療の一体的施設を整備

事業内容

①改修、整備等

【H24年度】 103,000千円
 ・基本、実施設計等 64,120千円
 ・体育館解体 38,880千円

【H25年度(債務負担行為)】
 改修等工事 1,590,000千円
 ・改修 904,000千円(7,091㎡)
 ・新增築 399,000千円(1,375㎡)
 ・耐震、外構等 287,000千円

②土地建物の所属替

病院会計から一般会計へ財産の所属移管
 1,061,000千円

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
①	事業費	58,900	1,400,000 (保留) 103,000	
	(うち一般財源)	(18,900)	(280,000) (14,000)	
②	事業費	0	1,061,000 1,061,000	
	(うち一般財源)	(0)	(330,000) (1,061,000)	
概定の考え方		①保留:概定上計上するが、想定規模等の見直しによる増築の必要性については市長査定で判断 想定規模等の見直しによる工事時期の変更(24⇒25年度)による減等(▲1,297,000) ②要求のとおり		①特定財源 市債 89,000 ②特定財源 なし

施設概要

- 医療機関[(仮称) 子ども心身医療センター (8,047㎡)]
 児童心療センター(6,027㎡)、発達医療センター(2,020㎡)
- 障がい児通園施設
 かしわ学園(770㎡)、ひまわり整肢園(420㎡)
- 障がい者通所施設
 第二かしわ学園(730㎡)
- 相談機関
 知的障害者更生相談所(まあち)(525㎡)

【想定スケジュール】

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	← 設計 →		
		体育館解体	
		← 本体工事(増築・改修等) →	
			供用開始 →

中央図書館元気カフェ整備【新規】

保) 保健福祉部

(単位:千円)

目的

障がい者が働く元気カフェを整備し、雇用の場の拡充とともに、障がいに対する理解促進

事業内容

中央図書館ロビー（アトリウム）にカフェ店舗の整備（障がい者協働事業運営補助金を活用して運営）

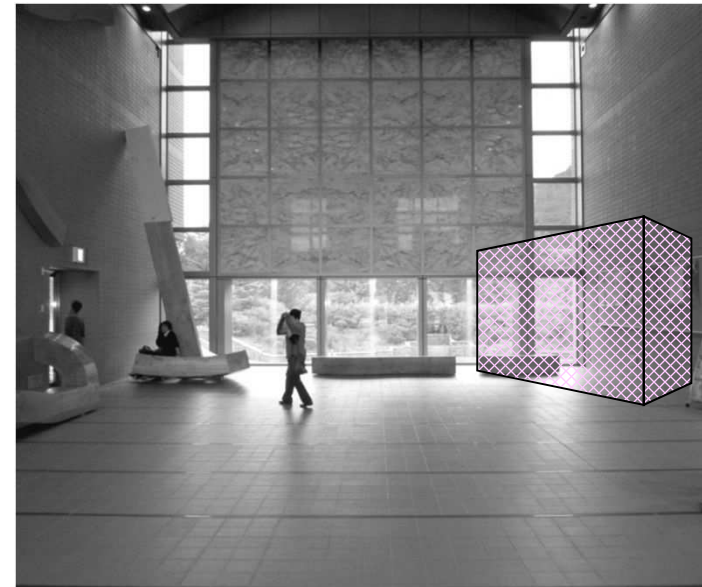
- ・ 実施設計等 4,464千円
- ・ 工事費 21,107千円
- ・ 事務費等 1,929千円

スケジュール

24年度									
4	5	6	7	8	9	10	11	12	
実施設計等					工事				竣工

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
事業費	0	29,649	27,500	
(うち一般財源)	(0)	(9,649)	(27,500)	
概定の考え方	工事費等について過去実績に基づき精査(▲2,149)			特定財源なし

店舗形状(デザイン)は、市役所「元気カフェ」を参考に、正面玄関から認識しやすく、最大限ロビーの活用を図ることができるよう工夫する。※図は、設置イメージ



(仮称) 障がい者虐待防止センター—運営事業【新規】保) 保健福祉部

(単位:千円)

目的

障がい者虐待の防止、障がい者の養護者等に対する支援等に関する施策の促進を図り、障がい者の権利利益の擁護を推進

事業内容

「障がい者虐待の防止、障がい者の養護者等に対する支援等に関する法律」に基づき、札幌市における障がい者虐待防止体制の中核となる「障がい者虐待防止センター」を新たに設置

【機能】

- ・虐待に関する通報等の受理
- ・障がい者や家族等への相談・指導及び助言
- ・広報、啓発活動、人材育成
- ・虐待防止ネットワークの運営・管理 など

【委託費】 5,736千円

- ・センター長兼相談員1人、事務員1人：3,715千円(8か月分)
- ・広報、研修、事務費等 2,021千円

※札幌市社会福祉協議会への委託を想定

【平成24年10月設置予定】

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
事業費	0	8,712	5,736	
(うち一般財源)	(0)	(8,712)	(5,736)	
概定の考え方	人件費について類似事例を参考に精査(▲715) 事務費について過去実績に基づき精査(▲2,261)			特定財源なし

札幌市社会福祉協議会

「高齢者・障がい者あんしん支援センター」

- 高齢者虐待相談(相談員1人)
- 日常生活自立支援事業(専門員7人)
- 成年後見事業(受任者1人)
- 福祉サービス苦情相談(調整委員会)
- 障がい者あんしん相談(相談員1人)

拡充

障がい者虐待防止センター(新設)

- ・センター長兼相談員1名(追加)
- ・相談員1名(既存)
- ・事務員1名(追加)

～安心して暮らせるぬくもりの街～

広域型特別養護老人ホーム新築費補助

保) 保健福祉部

(単位:千円)

目的

在宅等において生活が困難な高齢者が、介護を受けながら、安心した生活を送ることができる場の確保

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
事業費	635,000	528,000	528,000	
(うち一般財源)	(41,000)	(36,000)	(36,000)	
概定の考え方	要求のとおり			特定財源 市債 492,000

事業内容

広域型特別養護老人ホーム（定員80人）の新築費補助

4施設（うち1施設は23年度着工分）分：528,000千円

- ・ H23年2定補正追加分：132,000千円=165,000千円×工事未着工分80%×1施設（24年度竣工）
- ・ H24年度着工分：396,000千円=165,000千円×年度内工事進捗分80%×3施設（25年度竣工）

整備数(着工ベース)

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	合計
広域型※1 (定員80人)	3施設 ※3	3施設	3施設	3施設	12施設
地域密着型 ※2(定員29人)	2施設	—	—	—	2施設
定員(計)	298人	240人	240人	240人	1,018人

※1 広域型とは定員30人以上の施設 ※2 地域密着型とは定員29人以下の施設
 ※3 平成23年度の広域型3施設には、補正予算分1施設を含む

[特養待機者の状況(23年6月末現在)]

- ・ 総待機者数:6,123人
- ・ うち緊急度の高い人:975人
(在宅等で入所の必要性が高い人)
- ・ 既設特養の入替数:974人/年
(22.7~23.6)

市営住宅建替事業

都) 市街地整備部

(単位:千円)

目的

老朽化した市営住宅を建て替え、入居者の安全性確保や利便性向上を図る

事業内容

老朽化した市営住宅の建替を実施

【新規】下野幌団地H2号棟(H24～26) : 246,000
幌北団地7号棟

【継続】下野幌団地H1号棟(H23～25) : 803,000

【継続】下野幌団地E3号棟(H22～24) : 541,000

【単年度】設計費・解体費等 : 670,979

〔※参考 東雁来団地子育て支援住宅 : 1,273,021〕

【団地建替進捗状況】※着工ベース
下野幌(青葉)団地 2,055戸/2,195戸(93.6%)
幌北団地 372戸/372戸(100.0%)

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
事業費	5,271,000	2,421,230	2,260,979	
(うち一般財源)	(196,793)	(189,315)	(136,480)	
概定の考え方	工事費等について過去実績に基づき精査(▲160,251)			特定財源 国庫支出金 1,041,499 市債 1,083,000

●新規着手建替住棟概要 (H24～26)

	下野幌団地H2号棟	幌北団地7号棟
階数・戸数	14階建・154戸	11階建・44戸
延べ床面積	14,320.97㎡	4,101.94㎡
総事業費	2,894,096	1,026,904

●新規着手建替住棟事業費

項目		総額	24年度	25年度	26年度
事業費	工事費	3,803,188	224,969	1,342,164	2,236,055
	設計費等	117,812	21,031	39,836	56,945
	合計	3,921,000	246,000	1,382,000	2,293,000
財源	国庫支出金	1,883,947	115,613	666,416	1,101,918
	市債	2,010,000	130,000	699,000	1,181,000
	一般財源	27,053	387	16,584	10,082

●整備戸数の推移

	21年度	22年度	23年度	24年度
着工戸数	291	143	154	198
しゅん工戸数	155	45	371	63

市民防災センターリニューアル事業【新規】

消) 総務部

(単位:千円)

目的

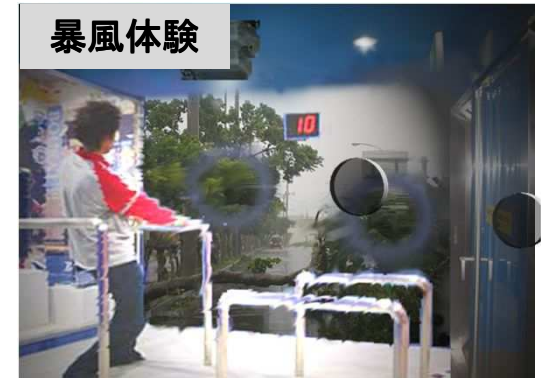
様々な災害シミュレーションを繰り返し体験することで、災害の恐ろしさと自らを守る方法を知り、市民一人ひとりの防災意識と災害への対応力を向上

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
事業費	0	129,000	40,000	
(うち一般財源)	(0)	(96,000)	(40,000)	
概定の考え方	H26年度(新まちづくり計画期間内)までに平準化して事業を実施すべき(▲89,000)			特定財源なし

事業内容

東日本大震災やH16年の暴風災害などの教訓を活かした体験設備の新設及びリニューアル

- 0
- ・津波体験コーナー新設 20,000千円
- 0
- ・暴風体験コーナー新設 45,000千円
- 40,000千円
- ・地震体験コーナー更新 46,000千円
- 0
- ・防災情報コーナー更新 18,000千円



震災時消防体制強化事業関連【新規】

消) 総務部

(単位:千円)

目的

東日本大震災の教訓を生かし、札幌市で同様の大規模災害が発生した場合を想定して、より迅速で効果的な活動が行えるよう消防隊及び救助隊の体制を強化

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
事業費	0	65,375	62,000	
(うち一般財源)	(0)	(31,375)	(62,000)	
概定の考え方		①特別消防隊の創設数を前倒し(2隊→3隊)の上、資機材について過去実績に基づき精査(▲828) ②空気充填設備の整備数を前倒し(1基→2基)の上、工事費等について過去実績に基づき精査(▲2,547)		①特定財源なし ②特定財源なし

① 高度消防活動用資機材・都市型搜索救助資機材整備

[事業費20,513千円]

生存率が急激に低下するとされる被災後72時間以内の早期救出活動を行うための消防救助体制強化

- ・ 高度消防活動用資機材 14,809千円
(赤外線カメラ、検索用発光ロープ等)
- ・ 都市型搜索救助資機材 5,704千円
(パワーカッター、電動ハンマードリル等)

○特別消防隊の創設

困難性の高い災害現場で消火活動等を専門に行う部隊を創設

○高度消防活動・都市型搜索救助資機材の導入

迅速で効果的な活動が行えるよう救助資機材を整備



特別消防隊イメージ



都市型搜索救助資機材

② 給油・空気充填施設整備

[事業費41,487千円]

大規模な災害に備え、消防活動上必要な車両燃料と空気ポンペの充填の補給体制を確立

- ・ 給油施設 34,207千円
- ・ 空気充填設備 7,280千円

○給油施設及び空気充填設備の設置



給油施設イメージ



空気充填設備

(単位:千円)

目的

震災時、応急活動の拠点となる施設や児童生徒の安全及び地域住民の避難場所としての機能を確保するため、区の施設等や学校施設の耐震化を推進

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
① 事業費	448,351	4,010,976	3,902,892	
(うち一般財源)	(230,473)	(878,177)	(370,282)	
② 事業費	49,549	199,543	190,508	
(うち一般財源)	(49,549)	(199,543)	(190,508)	
概定の考え方	①設計費、工事費等について過去実績に基づき精査(▲108,084) ※概定上計上するが、早期着工のため学校施設の耐震改修については24年1定補正で計上を検討(小中学校の設計及び高等学校の耐震改修を除く) ②工事費等について過去実績に基づき精査(▲9,035)			①特定財源 国庫支出金 1,718,048 市債 1,812,000 諸収入 2,562 ②特定財源 なし

①耐震化事業

[事業費3,902,892千円]

(1) 一般施設等

- ・ 区役所等 (設計) 29,292千円
 3区役所、3区民センター
- ・ 南保健センター (設計) 1,900千円
- ・ 青少年科学館 (設計) 10,700千円

(2) 学校施設

- ・ 工事 37校(新規着手25校を含む) 3,522,000千円
- ・ 設計 43校(新規着手28校を含む) 339,000千円

※H26までに改築予定の学校を除く全ての必要校の補強を完了予定

②改築事業

[事業費190,508千円]

(1) 一般施設等

- ・ 定山溪出張所(工事等) 190,508千円

※学校施設改築は次頁

(学校施設の耐震改修)

平成23～26年度までに耐震補強を行う
 予定の学校 99校
 23年度末 10校完了
 24年度末 32校完了(累計)

※24年度:22校(新規着手10校)完了
 予定



市有建築物の耐震化関連（学校改築工事）

教）生涯学習部

（単位：千円）

目的

児童生徒の安全や良好な教育環境及び地域住民の避難場所としての機能を確保するため、学校施設の改築工事を推進

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
事業費	4,117,500	9,149,785	7,458,400	-
（うち一般財源）	(2,591,396)	(5,793,448)	(4,038,797)	-
概定の考え方	工事費等について過去実績に基づき精査（▲1,691,385）			特定財源 国庫支出金 1,345,603 市債 2,074,000

事業内容

●北白石小・中学校（H24年7月工事完了予定）

小学校部分

校舎4階建 7,481㎡（既存校舎建築S44～、6,457㎡）
普通教室18、特別教室10、特別支援2

中学校部分

校舎4階建 8,554㎡（既存校舎建築S45～、6,800㎡）
普通教室23、特別教室15、特別支援2
屋内運動場1,611㎡（既存校舎建築S46～、1,048㎡）

●手稻中学校（H25年3月工事完了予定）

校舎3階建 8,488㎡（既存校舎建築S37～、7,001㎡）
普通教室19、特別教室17、特別支援2

●その他

- ・東橋小学校グラウンド造成等
- ・桑園小学校グラウンド造成等

●北九条小学校（H25年3月工事完了予定）

校舎5階建 7,175㎡（既存校舎建築S32～、5,179㎡）
普通教室15、特別教室10、特別支援2

北九条小学校完成予想図



※原則として改築校については、ペレットボイラー暖房や太陽光パネルを併せて整備。

市有建築物の耐震化関連（学校改築設計）

教）生涯学習部

（単位：千円）

目的

児童生徒の安全や良好な教育環境及び地域住民の避難場所としての機能を確保するため、学校施設の改築に係る設計を推進

事業内容

【実施設計】

●南郷小学校

校舎3階建 6,791㎡（既存校舎建築S37～、5,376㎡）
普通教室14、特別教室10、特別支援2

●東札幌小学校

校舎4階建 6,638㎡（既存校舎建築S39～、5,470㎡）
普通教室14、特別教室10、特別支援3
屋内運動場1,358㎡（既存建物建築S40、1,002㎡）

【基本設計】

●屯田小学校

既存校舎建築S44～、6,265㎡
既存屋内運動場建築S45～、781㎡

●啓明中学校

既存校舎建築S37～、6,200㎡

●中島中学校

既存校舎建築S39～、6,778㎡

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
事業費	31,900	280,881	239,000	
（うち一般財源）	(31,900)	(280,881)	(239,000)	
概定の考え方	基本設計校数 5→3校（新まちづくり計画の計上数） （▲41,881）			特定財源 なし

改築スケジュール

	24年度	25年度	26年度
改築工事	北白石小・中学校	南郷小学校	屯田小学校
	北九条小学校	東札幌小学校	啓明中学校
	手稲中学校		中島中学校
実施設計	南郷小学校	屯田小学校	A校
	東札幌小学校	啓明中学校	B校
		中島中学校	C校
基本設計	屯田小学校	A校	D校
	啓明中学校	B校	E校
	中島中学校	C校	F校

※北白石小・中学校は24年度改築2年目